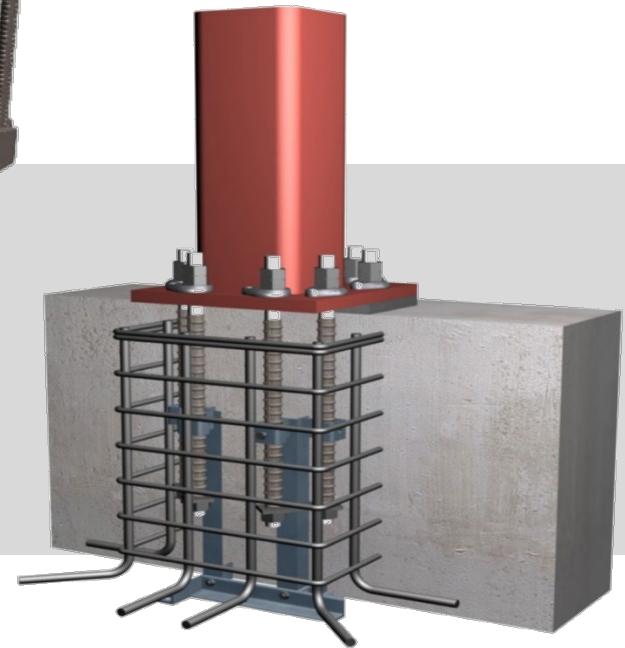


2018年12月期 決算説明会



クラウンパイルアンカー



ベースパックVシリーズ



本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみに依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする為替レートの変動などが含まれます。

岡部グループの事業領域

多角化事業

主に、魚礁の製造販売、
北米における釣り用錘の製造
販売をしております。

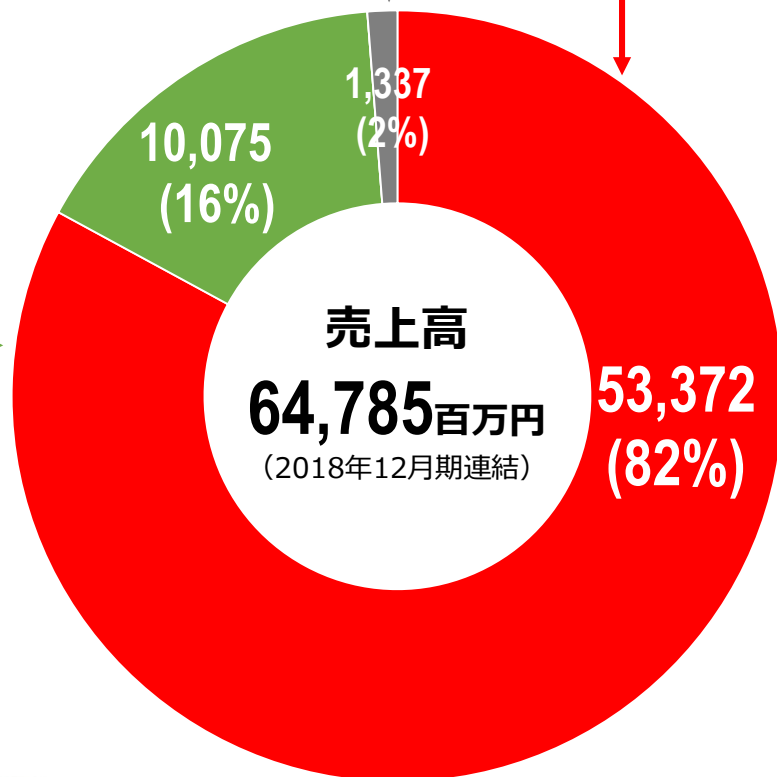
自動車関連製品事業

バッテリー端子の製造販売、
トラック等向けボルト・ナットの
販売を行っております。



建設関連製品事業

- 仮設・型枠製品
 - 土木製品
 - 構造機材製品
 - 建材商品（北米含む）
- より構成されております。



国内・海外売上比率

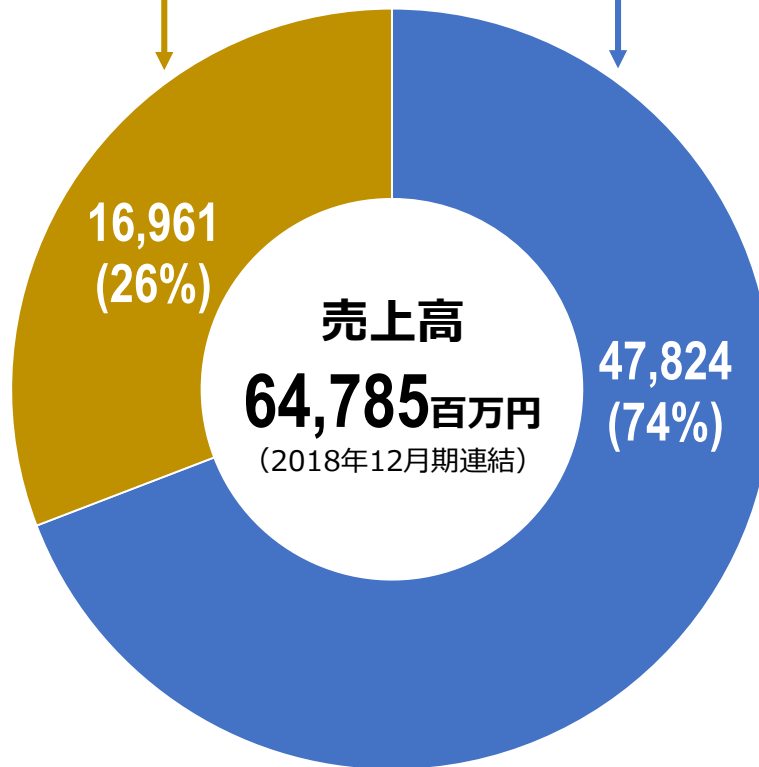
海外事業

- 建材商品販売
 - 自動車関連製品事業
- から構成されております。



国内事業

- 建設関連製品事業等
- から構成されております。



本日のアジェンダ

I. 2018年12月期 通期連結業績概要

II. 2019年12月期 通期連結業績の見通し

III. Topics

- ①株式会社河原の買収について
- ②WG社 米国工場における一部生産設備の一時的停止について

I . 2018年12月期 通期連結業績概要

2018年サマリー

プラス要因

建設関連製品事業

- 省力化製品(型枠資材・ベースパック・鉄筋継手)を中心に、販売が好調に推移
- 鋼材価格上昇に対する適切な価格転嫁の実施

建設関連製品事業 (北米)

- 新物流倉庫の活用等により、OCM社の販売が大きく伸張

自動車関連製品事業

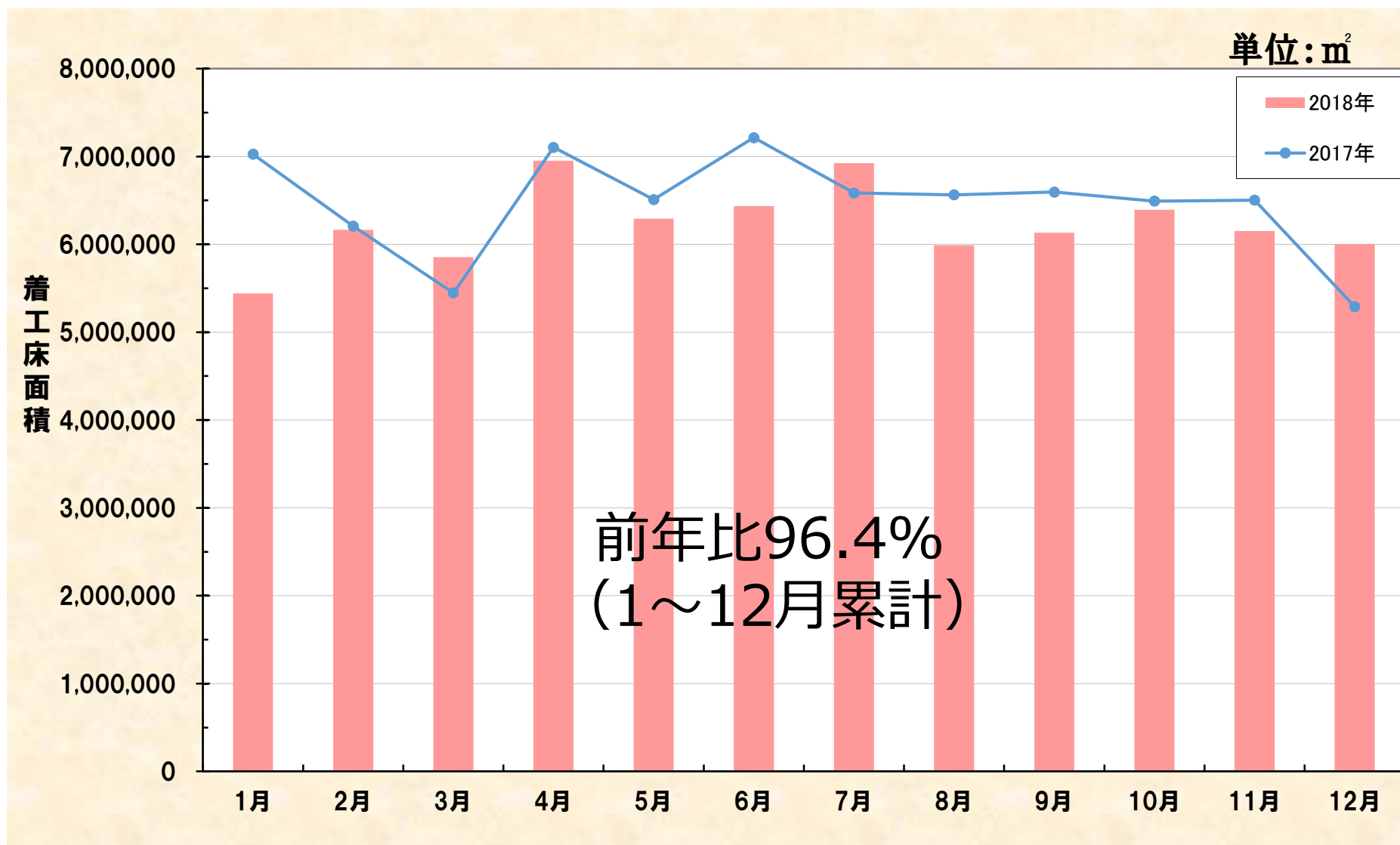
- 主力市場である北米・欧州向けの販売が好調

マイナス要因

自動車関連製品事業

- 機械設備の老朽化に伴う生産効率の低下と修繕費用の増加による収益性の低下

2018年 建設着工床面積 推移



セグメント別・製品別売上高 【前期比】

(単位：百万円)		2017 通期実績	2018 通期実績	増減額	増減率
製品別	仮設・型枠製品	7,013	7,386	373	5.3%
	土木製品	6,073	6,043	△30	△0.5%
	構造機材製品	19,751	20,670	919	4.7%
	建材商品（国内）	12,651	13,072	420	3.3%
	建材商品（海外）	4,915	6,199	1,284	26.1%
建設関連製品事業		50,404	53,372	2,967	5.9%
自動車関連製品事業		9,370	10,075	705	7.5%
多角化事業		1,142	1,337	195	17.1%
合 計		60,917	64,785	3,867	6.3%

セグメント別営業利益【前期比】

(単位：百万円)

	2017 通期実績	2018 通期実績	増減額	増減率
建設関連製品事業	4,105	4,727	621	15.1%
自動車関連製品事業	761	587	△173	△22.8%
多 角 化 事 業	△22	34	56	—%
合 計	4,844	5,349	504	10.4%

連結業績概況 【前期比】

(単位：百万円)

	2017 通期実績	2018 通期実績	増減額	増減率
売上高	60,917	64,785	3,867	6.3%
営業利益	4,844	5,349	504	10.4%
(営業利益率)	8.0%	8.3%	—	—
経常利益	5,068	5,601	533	10.5%
当期純利益	3,485	3,785	299	8.6%

Ⅱ. 2019年12月期 通期連結業績の見通し

2019年度の見通し

プラス材料

建設関連製品事業

- 首都圏の大規模再開発が順調に進捗
- 災害復興工事等の公共工事に底堅い需要

建設関連製品事業 (北米)

- 新物流倉庫が年度を通じて売上に寄与(前期は半期程度)

自動車関連製品事業

- 主力市場である北米・欧州市場の需要が引き続き堅調
- 中国工場閉鎖による収益の改善

マイナス材料

建設関連製品事業

- 人手や鉄骨造向け建設資材の不足による工期の遅れ

自動車関連製品事業

- 生産設備の老朽化による生産効率の低下
- 米国工場の一部生産設備停止の影響

アクションプラン

建設関連製品事業

- 物流等のコスト上昇対策と適切な価格転嫁
- 提案型営業による高付加価値製品の拡販
- 省力化製品の拡販

自動車関連製品事業

- 老朽化した生産設備の更新を実施
- 工場全体の抜本的な見直しを含め、生産効率向上に向けた計画を策定

2019年度通期連結業績予想

(単位：百万円)	2018 通期実績	2019 通期予想	増減額	増減率
売上高	64,785	68,500	3,714	5.7%
営業利益	5,349	6,100	750	14.0%
(営業利益率)	8.3%	8.9%	—	—
経常利益	5,601	6,200	598	10.7%
当期純利益	3,785	4,300	514	13.6%

2019年度通期セグメント別・製品別売上高予想

(単位：百万円)

		2018 通期実績	2019 通期予想	増減額	増減率
製品別	仮設・型枠製品	7,386	7,300	△86	△1.2%
	土木製品	6,043	6,100	56	0.9%
	構造機材製品	20,670	22,800	2,129	10.3%
	建材商品	13,072	12,700	△372	△2.8%
	建材商品（海外）	6,199	6,400	200	3.2%
建設関連製品事業		53,372	55,300	1,927	3.6%
自動車関連製品事業		10,075	9,800	△275	△2.7%
多角化事業		1,337	3,400	2,062	154.2%
合 計		64,785	68,500	3,714	5.7%

2019年度通期セグメント別営業利益予想

(単位：百万円)

	2018 通期実績	2019 通期予想	増減額	増減率
建設関連製品事業	4,727	5,100	372	7.9%
自動車関連製品事業	587	750	162	27.6%
多角化事業	34	250	215	626.1%
合 計	5,349	6,100	750	14.0%

株主還元方針 -配当政策について-

	2017	2018	2019 (予想)
1株当たり 当期純利益	69.95円	75.97円	86.29円
1株当たり 配当金額	30.00円	26.00円	28.00円
連結配当性向	42.9%	34.2%	32.4%

※2017年の1株当たり配当金額には、記念配当の6円を含んでおります。

資産収益性について

- ・財務の健全性を維持しつつ、持続的な向上を図ります

(単位：百万円)	2017	2018	2019 (予想)
当 期 純 利 益	3,485	3,785	4,300
純 資 産	53,828	56,630	58,428
R O E	6.5%	6.7%	7.4%

※純資産の数字は期中平均を使用しております。

Ⅲ. Topics

- ①株式会社河原の買収について
- ②WG社 米国工場における一部生産設備の一時的停止について

注：WG社は当社子会社でありますオカベ・ホールディングUSA, Inc.の子会社であるウォーター・グレムリン・カンパニーの略称となります。

買収の概要

株式取得日 : 2019年1月31日
株式取得割合 : 100%

(株)河原の会社概要

主力事業 : リフトテーブルの製造・販売
拠点 : 広島県尾道市(本社)、東京、名古屋、大阪
製造拠点 : 尾道本社周辺に工場を保有
業績 : 売上高 24億2千万円 (2018年3月期実績)
営業利益 3億6千5百万円(2018年3月期実績)

リフトテーブルについて

製品概要 : 作業テーブル、マテリアルハンドリング、舞台装置等、様々な場面で段差解消のために使用される。



(株)河原の業界における強み・シェア・取引先

強み : 特殊な用途向けの製品を設計・製造する技術力

シェア : 日本国内において高いシェアを誇る

顧客基盤 : 様々な業界において6,000社の取引実績

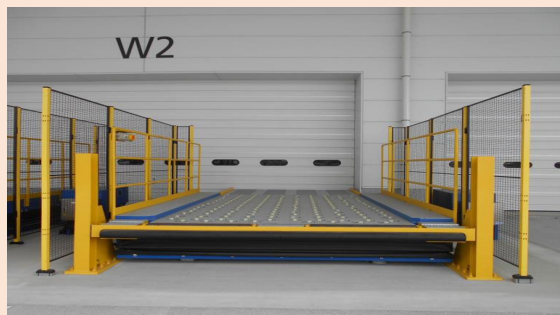
買収の狙い

1 製品ラインアップの拡充

河原の製品ラインアップ



工場向け製品



物流施設向け製品



岡部の建設現場向け営業力



営業（建設資材）



営業（ベースパック）



営業（土木）

シナジー① 岡部の営業力活用による販売力強化

買収の狙い

2 海外向け製品の獲得

世界中で需要があるリフトテーブル



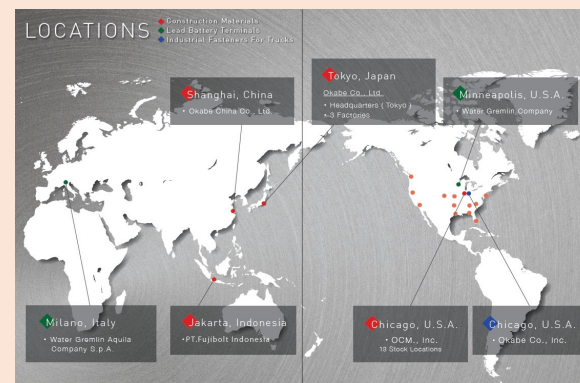
岡部の海外における営業拠点



Kシリーズ



KTLシリーズ



OCM社・オカベインク社



フジボルトインドネシア

シナジー 2 海外向け販路の新規開拓

中期経営計画 2017-2019

NEXT100

~Exciting Future~

STRATEGY

3つの柱

コア事業への
経営資源の集中

新製品開発強化

グローバル展開推進



okabe

建設関連製品事業

自動車関連製品事業

多角化事業

VALUE & STRUCTURE

Strengthen

経営基盤の強化

VISION

Global Maker

安全と安心の提供を通じて
社会に貢献するグローバル・メーカー

技術力

×

ワクワク

経営基盤～4つの強化策

- 1 創業期以来の社是の再確認
- 2 多様な人材獲得・育成（人材のグローバル化とダイバーシティ）
- 3 IT化のさらなる推進による職場環境の改善と業務効率化
- 4 ガバナンス強化

中期経営計画 NEXT100 投資一覧(実施済み)

建設関連製品事業

- (株)富士ボルト製作所の発行済全株式を取得
- 総合実験センターの建設
- 久喜工場の拠点整備
- 北米における新物流倉庫の建設

自動車関連製品事業

- 米国・欧州における生産設備の更新（一部実施済）

中期経営計画 NEXT100 投資一覧(2019年度予定)

建設関連製品事業

- フジボルトインドネシアにおける生産設備の更新
- 千葉工場の拠点整備

自動車関連製品事業

- 米国・欧州における生産設備の更新を引き続き実施

②WG社 米国工場における一部生産設備の一時的停止について

・概要

- WG社の社内調査において、一部の環境設備の不具合により、ミネソタ環境局の定める基準を上回る量のトリクロロエチレンが大気に放出されていることが判明し、一部の生産設備を一時的に停止中。

・今後の対応（再稼動に向けた方針）

- 環境負荷の少ない代替溶剤の利用を含む抜本的な再発防止策の実施。
- グローバルな生産管理体制整備によるガバナンスの強化。

・業績への影響

- 本件が当社連結業績に与える影響等については、精査中であり、状況が判明次第、速やかに開示いたします。

参考資料

NEXT100 修正後の業績予想（従来予想比）

(単位：百万円)		2019 ※従来予想	2019 修正予想	増減額	増減率
売	上 高	65,000	68,500	3,500	5.4%
営	業 利 益	5,800	6,100	300	5.2%
経	常 利 益	5,900	6,200	300	5.1%
当	期 純 利 益	4,000	4,300	300	7.5%

※2019年従来予想は、2018年2月14日付けのプレスリリース
「中期経営計画における業績目標の見直しに関するお知らせ」にて発表した業績予想です。

2019年度セグメント別・製品別売上高予想（上期・下期）

（単位：百万円）

		2019 上期予想	2019 下期予想	2019 通期予想
製品別	仮設・型枠製品	3,529	3,771	7,300
	土木製品	2,770	3,330	6,100
	構造機材製品	11,049	11,751	22,800
	建材商品	6,134	6,566	12,700
	建材商品（海外）	2,798	3,602	6,400
建設関連製品事業		26,280	29,020	55,300
自動車関連製品事業		4,738	5,062	9,800
多角化事業		1,132	2,268	3,400
合計		32,150	36,350	68,500

2019年度セグメント別営業利益予想(上期・下期)

(単位：百万円)

	2019 上期予想	2019 下期予想	2019 通期予想
建設関連製品事業	2,338	2,762	5,100
自動車関連製品事業	188	562	750
多角化事業	44	206	250
合 計	2,570	3,530	6,100

2019年度通期連結業績予想(上期・下期)

(単位：百万円)

	2019 上期予想	2019 下期予想	2019 通期予想
売上高	32,150	36,350	68,500
営業利益	2,570	3,530	6,100
経常利益	2,610	3,590	6,200
当期純利益	1,760	2,540	4,300